

VOGUE JAPAN

報道関係各位
プレスリリース

2012年4月26日
コンデナスト・パブリケーションズ・ジャパン

『VOGUE JAPAN』2012年6月号(4月27日発売) 特集

20年代に熱い視線。

この夏、大胆に！

グラマラス&スポーティな女。

- **小栗旬が語る、自然と愛と家族の物語。**
- **世界一おもしろい！ 大阪“食”レポリレーション。**
- **綴込企画 コレクションスナップ 4 都市スペシャル。**

ハリウッドではレオナルド・ディカプリオの主演で映画『グレート・ギャツビー』がリメイクされ、ファッション界では春夏のランウェイにフラッパーガールが登場しと、1920年代がフィーチャーされている今年、『VOGUE JAPAN(ヴォーグ ジャパン)』2012年6月号(4月27日発売)は、華麗な時代を生きたグラマラス&スポーティ(=活動的)な女性たちのスタイルにスポットを当てました。特集では、20年代に流行したような直線的なラインのドレスや、ロンドン五輪を意識したアスレチックムードとのミックスなどを提案しています。巨匠マーティン・スコセッシ監督のプロデュースで話題の、20年代のアメリカが舞台のTVドラマ『ボードウォーク・エンパイア』に学ぶスタイル術は、主演キャストに直接取材したドラマの見どころも必見です。

■映像作家・杉井ギサブローが、小栗旬にインタビュー。

今年3月に結婚を発表し、公私ともにますます充実の俳優・小栗旬さんが登場。今回は、小栗さんの最新作、宮沢賢治原作のアニメ映画『グスコーブドリの伝記』を監督した杉井ギサブローさんによるインタビューというスペシャルな企画です。映画の話題はもちろん、この作品のテーマである自然との関わりや、宮沢作品に触れて感じた日本語の奥深さなど、人としても役者としても、等身大の小栗旬が語られています。

■食の冒険を求めていざ、大阪へ！

今も昔も食い倒れの街、大阪。独自の進化を遂げていると話題のレストランシーンを取材しました。大阪にわざわざ行くべき最新の理由は、誰のマネでもない独創性豊かな若手シェフがおもしろい！ 古い雑居ビルに一流フレンチが！ お好み焼きや串揚げなど大阪のソウルフードが洗練！ など。ジャンルやカテゴリーにハマらない、新しい食体験を紹介します。

■綴込企画 コレクションスナップ 4 都市スペシャル。

綴込付録は恒例の人気企画、パリ・ミラノ・NY・ロンドンのコレクションスナップを 24 ページわたってお届けします。「パリコレ直前、ファッションistaのクローゼット拝見」には本誌のアンナ・デッロ・ルツォが、コレクション会場のスナップには米ヴォーグ編集長のアナ・ウィンターなどが登場。世界のファッションistaたちのリアルな着こなしは参考になること間違いなし、今シーズン必読です！

■その他の『VOGUE JAPAN』 2012 年 6 月号特集は、次の通りです。

- ・ 日常で使いこなすアールデコ・ジュエリー。
- ・ パリコレ白熱教室。
- ・ ケイト・モスが案内する“最後の”リッツ・パリ。
- ・ ヴィクトリア・ベッカムというブランドができて上がるまで。
- ・ サカナクションの謎に迫る。
- ・ 別冊付録 Vogue Bride など

VOGUE JAPAN 2012 年 6 月号表紙



VOGUE JAPAN 2012 年 6 月号
Photo: Terry Richardson
© 2012 Condé Nast Publications Japan. All rights reserved.

VOGUE JAPAN 2012 年 6 月号別冊付録
『VOGUE Bride』



VOGUE JAPAN 2012 年 6 月号 別冊付録『VOGUE Bride』
Photo: Eric Guillemin
© 2012 Condé Nast Publications Japan. All rights reserved.

【VOGUE JAPAN】

1892年に米国で創刊し、現在19カ国で発行される、世界で最も影響力のあるファッション誌『VOGUE』の日本版として、1999年7月に創刊。世界のトップフォトグラファーとのコラボレーションによる美しいビジュアルが誌面を飾り、最新のファッションとビューティの情報から文化・社会的なトレンドまで、洗練された“ヴォーグの世界”を展開。時代に影響を与えた各界の女性たちを毎年年末に表彰する「Women of the Year」も好評。今年創刊13周年を迎える。

また、2000年に誕生したウェブサイトでは、世界のモード・ファッションを発信し、会話するメディアとして、ファッションistaへ向けてより多く、質の高い多様な情報を発信。モード系コミュニティサイト「VOGUE.talk」や、Blogコンテンツなどを通してインタラクティブなコミュニケーションも積極的に取り組んでいる。

インターネットへ掲載の場合、次の URL を掲載の上リンクしてください。

<http://www.vogue.co.jp>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先は、次の通りです。

VOGUE JAPAN マーケティング部

担当：猪股 TEL: 03-5485-9328 FAX: 03-5766-3010